

年 度 平成22年度
工 事 名 社会資本整備総合交付金事業
大湍環状線舗装補修工事
路 線 名 大湍環状線【第6工区】
工事箇所 南秋田郡大湍村字方口 地内

数 量 計 算 書

大 湍 村

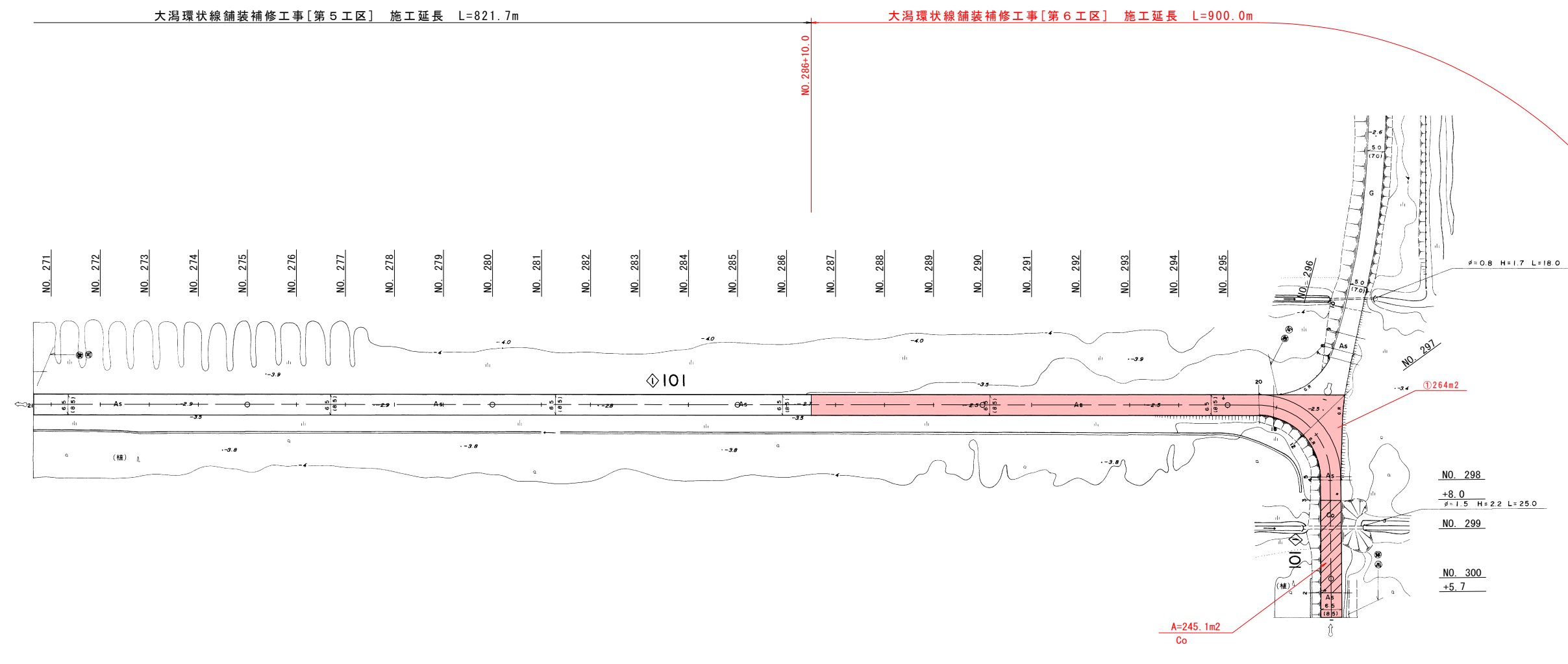
[第6工区]

舗装工数量集計表

種 別	細 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 工					
路面切削工					
	路 面 切 削	平均切削深さ:6cm	m2	5,868.9	
	殻 運 搬 処 理		m3	352.1	
舗装打換え工					
	表 層 工	再生密粒度アスコン(13), t=3cm	m2	5,868.9	
	表 層 工	再生密粒度アスコン(20), t=4cm	m2	5,868.9	
アスファルト舗装補修工					
	応 力 緩 和 層	特殊表面処理用アスファルト+ プレート砕石(7号)	〃	5,868.9	
コンクリート舗装補修工					
	表 面 保 護	けい酸ナトリウム系含資材	〃	245.1	
クラック補修工					
	注 入 工		m		
	シ ー ト 工		〃		
区画線工					
	溶 融 式 区 画 線	停止線, W=30cm	m	0.0	
	ペ ン ト 式 区 画 線	外側線(実線), t=15cm	〃	1,800.0	
	〃	中央線(破線), t=15cm	〃	450.0	
道路付属物工					
	視 線 誘 導 標	土中建込み、両面反射	本	46.0	設置

平面図

S=1:1000



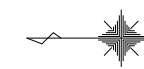
実施設計図

1/3

【第6工区】NO. 271~NO. 300		平成 22 年度	工事 番号
路線名	大湯環状線		
箇所名	南秋田郡大湯村字方口 地内		
工事名	社会資本整備総合交付金事業 大湯環状線舗装補修工事		
平面図	縮尺	1:1000	
照査	設計	図面 番号	
大湯村			

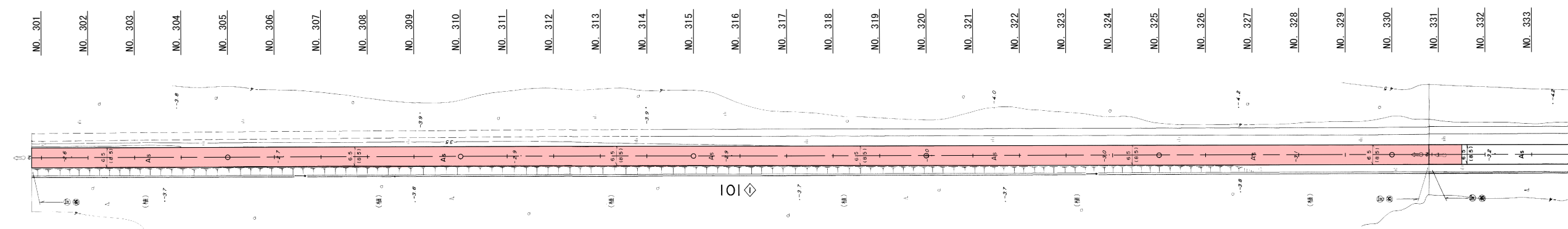
平面図

S=1:1000



大潟環状線舗装補修工事[第6工区] 施工延長 L=900.0m

NO. 331+10.0



方口

実施設計図

2/3

【第6工区】NO. 301~NO. 333

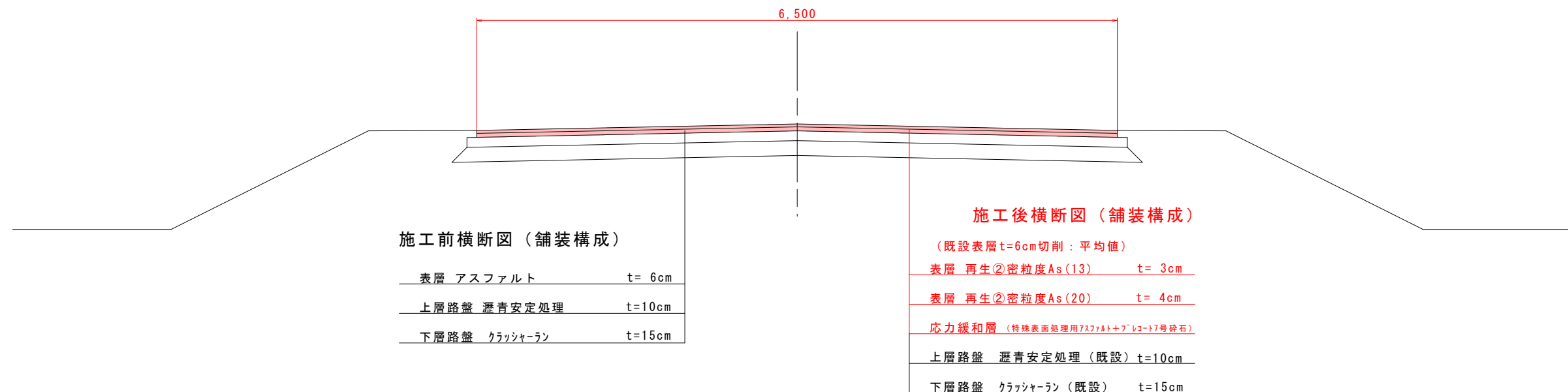
平成 22 年度	工事 番号	
路線名 河川名	大潟環状線	
箇所名	南秋田郡大潟村方口 地内	
工事名	社会資本整備総合交付金事業 大潟環状線舗装補修工事	
平面図	縮尺	1:1000
照査	設計	図面 番号
大潟村		

設計条件

計画交通量	40 ≤ T < 100
区間	No.0 ~ No.60
設計 CBR	4.0%
目標 TA	15
凍結深	25cm

標準横断面図

S=1:25



施工前横断面図（舗装構成）

表層	アスファルト	t=6cm
上層路盤	瀝青安定処理	t=10cm
下層路盤	クラッシャーラン	t=15cm

施工後横断面図（舗装構成）

(既設表層 t=6cm 切削：平均値)

表層	再生②密粒度As(13)	t=3cm
表層	再生②密粒度As(20)	t=4cm
応力緩和層 (特殊表面処理用アスファルト+ブレコート7号砕石)		
上層路盤	瀝青安定処理 (既設)	t=10cm
下層路盤	クラッシャーラン (既設)	t=15cm

既設舗装

舗装構成	厚さ (cm)	弾性係数 (MPa)	換算係数	残存等値換算厚	摘要
表層	アスファルト	6	2065	0.69	4.14
上層路盤	瀝青安定処理	10	716	0.46	4.60
下層路盤	クラッシャーラン	15	128	0.24	3.60
計		31		12.34	不足TA = 2.66

補修舗装

舗装構成	厚さ (cm)	弾性係数 (MPa)	換算係数	残存等値換算厚	摘要
表層	再生②密粒度As(13) t=3cm 再生②密粒度As(20) t=4cm	7	1.00	7.00	打換え
応力緩和層	特殊表面処理用アスファルト +ブレコート砕石(7号)	-			リフレクション クラック抑制
上層路盤	瀝青安定処理	10	0.46	4.60	既設
下層路盤	クラッシャーラン	15	0.24	3.60	既設
計		32		15.20	≥15 (目標TA)

実施設計図

3/3

【第6工区】

平成 22 年度	工事番号
路線名 河川名	大湯環状線
箇所名	南秋田郡大湯村字方口 地内
工事名	社会資本整備総合交付金事業 大湯環状線舗装補修工事
標準横断面図	縮尺 1:25
照査	設計 図面番号
大湯村	